意見箱への意見及び回答【令和８年度８月回答分（一部抜粋）】

ご意見	回答
時たま俳句が浮かぶ時にホームページを使って投句が出来たら楽しいのだが、その様なスペースを構成することは出来るか。今日の一句として。	俳句文化の振興を目的とし、年間を通じて投句していただける「十六万市民投句」事業を実施しております。 「十六万市民投句」では、既にインターネットを利用した投句の受付を行っており、パソコンやスマートフォン等から投句することが可能ですので、是非ご活用ください。 ご投句いただいた作品は、毎月選者による選句を行い、特選に選ばれた句は「広報おおがき」に掲載するほか、入選句一覧をホームページにて公表しております。
水都祭り盆踊りの改善について、盆踊りを楽しみにして行った人にとっては何これって感じ。盆踊りを古臭いものと思い、新しいことを取り入れる姿勢を遺憾に思う。今までの盆踊りが失われることが本当に嫌。 民謡と歌謡曲を大事にした全ての年齢が楽しめる盆踊りを返してください。	通常の盆踊りを楽しみにされていた方には、ご期待に沿えない内容となり、ご不快な思いをされたとのこと、誠に申し訳なく存じます。 ご意見につきましては、水都まつり実行委員会及び関係団体へ共有するとともに、来年度以降の企画内容や運営方法を検討する際の参考とさせていただき、より多くの皆様にご満足いただける水都まつりとなるよう連携してまいります。

ご意見	回答
毎年秋頃に駅前で開催されている、バンド演奏を伴うイベントについて、開催時間、音量および近隣への影響を慎重にご検討いただきたい。 公共的な催事であっても、近隣住民や周辺施設に一方的な負担を求める形で開催されるべきではないと考える。 つきましては、来場者数、周辺店舗への経済効果、参加者・近隣住民・事業者へのアンケート結果、苦情件数等を踏まえ、駅前の活性化にどのような効果があったのか、可能な範囲で客観的なデータや検証結果をお示しください。 今後も開催を継続される場合には、開催時期、開催時間、開催場所、音量、周辺住民・事業者への周知、苦情・要望の受付窓口案内等をご検討ください。 駅前が親しみやすく活気ある場所となることと、住民が安心して生活・休息でき、子どもたちが落ち着いて学習できる環境を守ることは、両立されるべき。これまでの開催効果と周辺への影響を検証し、今後の開催方法を見直していただくようお願いする。	はじめに、ご指摘のバンド演奏を伴うイベントについてでございますが、当該イベントは、大垣ジャズフェスティバル実行委員会が主催する「大垣ジャズフェスティバル」でございます。同イベントは、大垣市商店街振興組合連合会が主催する「オオガキストリートフェスティバル」と同時に開催されており、今年度は11月1日の日曜日の開催を予定されております。 次に、駅前活性化の効果に関する客観的なデータ等につきまして、昨年度の来場者数は、「オオガキストリートフェスティバル」と合わせて約5万人でございました。周辺への経済効果につきましては、具体的な計測は実施できておりませんが、商店街の皆様からは、来客が増え、売り上げが上がったとの声を伺っております。また、ご意見やご要望につきましては、数件お寄せいただきました。 最後に、今後の開催に向けていただきましたご要望につきましては、いずれも地域の活性化と、住民の皆様の安心・安全な生活環境や、子どもたちの学習環境との両立を図るうえで、大変重要なご指摘と受け止めております。本市といたしましても、いただきましたご要望の内容を主催者および関係団体と共有のうえ、真摯に検討し、可能な対応を進めてまいります。

ご意見	回答
2026年8月10日　10：00頃、大垣図書館の第一学習室は席の９割が埋まっている状態だった。第２学習室の前には省エネのため、第一学習室をご利用くださいと表示あり使えない状態だった。 第２学習室あけてもらって、より快適に勉強してもらえるスペース提供も大事だと感じた。	当館のご利用に関してご不便をおかけし、誠に申し訳ございませんでした。 当館の学習室につきましては、土日は開館と同時に第1学習室及び第2学習室を開放しておりますが、平日は利用者が少ないことから、先に第1学習室のみ開放し、職員が30分ごとに見回り、第1学習室が満席になりそうな場合は、第2学習室を開放しております。 しかし、一度に多くの利用者が入室するなどして、職員が気付く前に第1学習室が満席になった場合には、お手数ながら利用される方に、事務室までご連絡いただくよう学習室前の掲示物にてお願いしております。この度は、その掲示物がわかりにくかったため、ご連絡いただけなかったものと反省しております。
お盆明け、金生山で花火のゴミの散乱を目にし、警察へ通報した。 最近は雨が少なく一つ間違えれば大災害に繋がる。何か対策を考えるべき。 金生山の坂道の祠を通り過ぎた三ツ星鉱業の作業場と笠松への分かれ道の少し広くなった所で行われていた。看板か張り紙をお願いする。	ご要望いただきました対象地の所有者様へ、現地の事情を説明した上で、自治会のご理解とご協力を得ながら「ポイ捨て禁止」の看板の設置など注意喚起に向けた対応について検討してまいります。 また、枯れ草や落ち葉が見受けられる中での火気の取り扱いや山火事の懸念につきましては、市民の生命や貴重な文化財を守る観点からも十分な注意が必要であると認識しております。そのため、山林における防災・防火に関する看板や張り紙の設置について、関係機関と協議するとともに、現地周辺の状況についても情報を共有し、必要に応じた巡回等の連携を図ってまいります。